BIOLOGGING SOLUTIONS INC.

Product Catalog · 2026

ANIMAL-BORNE LOGGERS & UNDERWATER ACOUSTICS

LoggLaw 総合カタログ

動物に装着するデータロガーと水中音響レコーダ



LoggLaw C7XIR を背に付けて浮上するザトウクジラ。写真 © Takashi Iwata（元の写真から切り出し）

LoggLaw C シリーズ
超小型アーカイバルタグ。2.9 g から、9 型番
p.4

LoggLaw CAM
動物搭載型ビデオロガー。映像・音・センサ値
p.6

LoggLaw DiveSat
衛星中継型ロガー。浮上のたびに Argos へ送信
p.8

LoggLaw NAD-W
係留式の水中音響レコーダ。AI で音を検出
p.10

Biologging Solutions株式会社
京都 ／ 福岡
www.biologging-solutions.com

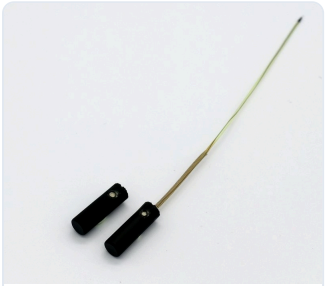
製品の構成

Four product lines

Biologging Solutions株式会社は、2014 年に設立した京都大学発のバイオロギング機器メーカーです。海鳥・海生哺乳類・魚類・ウミガメなどに装着するデータロガーと、水中音響レコーダを「LoggLaw」の名で、京都と福岡の R&D センターで開発・製造しています。本カタログの 4 製品は、記録したものを手元に受け取る方法で 3 つに分かれます。

個体を回収して読み出す

記録は本体に残ります。装着した個体を再捕獲し、本体を外して読み出します。



C シリーズ

超小型アーカイバルタグ

記録するもの
深度・温度・照度・簡易塩分・3 軸加速度・3 軸地磁気

大きさ
2.9〜13.0 g・9 型番

p.4 →



CAM

動物搭載型ビデオロガー

記録するもの
映像（最大 Full HD）。水中音・深度・温度・加速度・地磁気はオプション

大きさ
98 g（mini）・129 g（basic）

p.6 →

衛星で受け取る

浮上のたびに Argos へ送信。回収できれば全データも読み出せます。



DiveSat

衛星中継型ロガー

送るもの
潜水プロファイル・潜水の要約・位置（GPS は DiveSat-GPS）

大きさ
315 g・320 g（GPS 付き）

p.8 →

1 か所に設置して記録する

係留して水中音を録ります。カードを回収するか、LTE で検出結果を受け取ります。



NAD-W

係留式水中音響レコーダ

記録するもの
水中音（サンプリング 192 kHz）

大きさ
約 3 kg・φ11 × 40 cm

p.10 →

目次

	製品の選び方	記録するものと受け取り方	3
01	LoggLaw C シリーズ	原寸ラインアップと 9 型番	4
02	LoggLaw CAM	原寸外形と記録時間	6
03	LoggLaw DiveSat	送るデータと実証の結果	8
04	LoggLaw NAD-W	2 つの経路と設置期間	10
	お問い合わせ	各製品の詳細版カタログ	12

陸上動物用の GPS 首輪 **LoggLaw G シリーズ** と、野生動物の位置と獣害の情報を管理するクラウド **アニマルポータル** は、それぞれ別のカタログでご案内しています。

製品の選び方

What to record, and how the data comes back

記録したいものの行で使える製品を確かめ、下段で重さ・耐圧・データの受け取り方を比べてください。個体を回収できる見込みがあるかどうかが、選択を大きく分けます。

記録したいもの	C シリーズ p.4	CAM p.6	DiveSat p.8	NAD-W p.10
潜水の深さと水温の推移	●	○ センサオプション	●	—
照度による日々の位置の推定（ジオロケーション）	●	—	—	—
加速度・地磁気による行動の解析	● C7XI / C7XIR	○ センサオプション	—	—
採餌や行動の映像	—	●	—	—
装着個体のまわりの水中音	—	○ ハイドロフォンオプション	—	—
回収できない個体からのデータ	—	—	●	—
放流後の所在	—	—	● Argos 測位 GPS は DiveSat-GPS	—
1 か所の水中音の長期記録（受動的音響モニタリング）	—	—	—	●
鳴音や船舶音の自動検出	—	—	—	● クラウド AI
設置中に検出結果を受け取る	—	—	—	○ LTE モジュール（15 分ごと）
空中重量	2.9〜13.0 g	98 g・129 g	315 g・320 g	約 3 kg
耐圧深度	1,000 m・2,000 m	500 m	1,000 m	600 m
データの受け取り方	個体を回収して読み出す	個体を回収して読み出す	浮上のたびに衛星で受信	カードを回収、または LTE で検出結果
記録の単位	1 個体	1 個体	1 個体	1 か所

● 本体で記録できる　○ オプションを加えると記録できる

大きさの比較

縮尺 1：5（実物の 5 分の 1）



各製品の寸法から描いた外形の概略です（C は直径と長さ、CAM は側面、DiveSat は上面、NAD-W は側面）。DiveSat のアンテナ（筐体上端から 165 mm）と NAD-W のハイドロフォンは省略しています。

C

01 LoggLaw C シリーズ 超小型アーカイバルタグ

深度・温度・照度・簡易塩分・3 軸加速度・3 軸地磁気を、目的に応じて組み合わせて記録する超小型データロガー（ジオロケーター）です。浅海域を 1 cm 分解能で追う C7 から、水深 1,400 m を計測する C8、加速度と地磁気で行動を解析する C7XI / C7XIR まで、9 型番で構成しています。

ラインアップ（原寸）

A4・倍率 100% で印刷すると実物と同じ大きさ



C7-100 / C8-100 / C7-250 C8-150 / C8X-250 / C7XI-9D38 / C7XI-9D44 C7XIR-9D44 / C8X-500

外形が同一の型番は 1 本にまとめています。ストークは含みません。

型番を決める 3 つの問い

01 どこまで潜るか

~600 m
C7 系 / C7XI 系
深度分解能 1 cm 以下。浅い潜水の細かい形を追える。耐圧 1,000 m。

~1,400 m
C8 系
耐圧 2,000 m。分解能はフルスケール比 0.05%（1,400 m 域で約 70 cm）。

02 どれだけ長く記録するか

8 MB
C7-100 / C7-250 / C8-100 / C8-150
電池寿命は C7-100・C8-100 が 12ヶ月、C7-250・C8-150 が 24ヶ月（60 秒間隔）。

128 MB
C8X-250 / C8X-500
C8X-250 が 12ヶ月、C8X-500 が 24ヶ月（5 秒間隔）。

512 MB
C7XI-9D38 / C7XI-9D44 / C7XIR-9D44
長期計測モードで 4.5～18ヶ月。記録できる期間はセンサ構成と計測条件で決まります。

03 行動を解析するか

深度・温度・照度のみ
C7 系 / C8 系
潜水深度・水温・日長を記録。簡易塩分は C8 系と C7XI 系で選択可。

加速度・地磁気も記録
C7XI（一次電池）／C7XIR（充電式）
活動量・尾びれ振動数・摂餌や産卵の判別、照度が届かない場所での移動推定に。



カツオ
ストーク付きの構成。外部温度・照度センサを収めたストークが体外に伸びます。



10 円硬貨との比較
10 円硬貨は φ23.5 mm・4.5 g／C7-100 は φ8 × 26 mm・2.9 g

C7・C8・C7XI / C7XIR の違い

Series comparison

シリーズ比較

	C7	C8	C7XI / C7XIR
位置づけ	浅海域向けの高分解能モデル	大水深対応の高耐圧モデル	C7 ベース+行動解析モデル
対象動物の例	海鳥・ウミガメ・小型〜中型魚類	マグロ類・大型ハクジラ類	海鳥・アザラシ類
耐圧深度	1,000 m	**2,000 m**	1,000 m
深度センサ計測範囲	〜600 m	**〜1,400 m**	〜600 m
深度分解能	**≤ 1 cm**	0.05% FS（1,400 m で約 70 cm）	**≤ 1 cm**
搭載センサ	深度 / 内部温度 / 外部温度 / 照度	深度 / 内部温度 / 外部温度 / 照度 / 簡易塩分	**C8 の構成+3 軸加速度 / 3 軸地磁気**
メモリ	8 MB	8〜128 MB	**512 MB**
充電式モデル	—	—	**C7XIR**

9 型番の一覧

電池寿命は計測条件で変わります（下の注）

型番	空中重量	サイズ	メモリ	耐圧深度	電池寿命の目安
C7-100	2.9 g	φ8 × 26 mm	8 MB	1,000 m	12ヶ月*1
C7-250	4.8 g	φ9 × 32 mm	8 MB	1,000 m	24ヶ月*1
C8-100	3.5 g	φ8.5 × 26 mm	8 MB	2,000 m	12ヶ月*1
C8-150	4.8 g	φ9 × 32 mm	8 MB	2,000 m	24ヶ月*1
C8X-250	6.0 g	φ11 × 33 mm	128 MB	2,000 m	12ヶ月*2
C8X-500	13.0 g	φ13 × 44 mm	128 MB	2,000 m	24ヶ月*2／36ヶ月*3
C7XI-9D38	6.0 g（ストーク付き）	φ9 × 38 mm	512 MB	1,000 m	12ヶ月*4
C7XI-9D44	7.0 g（ストーク付き）	φ9 × 44 mm	512 MB	1,000 m	18ヶ月*4
C7XIR-9D44	4.4 g（ストーク無し）	φ9 × 44 mm	512 MB	1,000 m	4.5ヶ月*4（充電式）

シリーズ共通仕様

時刻精度	±95 s/年（自動温度補償）
温度センサ	計測範囲 -5〜35 ℃ ／ 精度 ±0.2 ℃ ／ 分解能 0.05 ℃ 以下
ストーク（外部温度・照度センサ）	選択可。長さ・有無をカスタマイズ可能（C7XIR は非対応）
C7XI / C7XIR の計測モード	長期計測モード（60 秒ごとに 5 秒間）／連続計測／1 日 10 分計測。計測条件は 18 通りの組み合わせから選びます
設定・データ回収	専用アプリ LoggLawSurfC（Windows）+ 通信アダプター

*1〜*3: 深度・内部温度・外部温度・照度を計測した場合。*1: 60 秒間隔／*2: 5 秒間隔／*3: 10 秒間隔。
*4: 長期計測モードで、加速度（16 Hz）・深度・地磁気（1 Hz）を 60 秒ごとに 5 秒間計測し、内部温度・外部温度・照度を 60 秒間隔で計測した場合。連続計測では C7XI-9D38 が 3 週間、C7XI-9D44 が 2ヶ月、C7XIR-9D44 が 2 週間です。

C シリーズ 詳細版カタログ

モデルごとの仕様、C7XI の計測モードと設定の組み合わせ、サンプリングパターン、装着例、オプションまでを製品ページの詳細版（PDF）に掲載しています。

www.biologging-solutions.com/ja/products/logglaw-c

02 LoggLaw CAM 動物搭載型ビデオロガー

装着した個体の視点から、水中の行動を映像と音で記録するロガーです。深度・温度・加速度・地磁気も同じ時刻軸で記録し、個体を回収してから読み出します。本体は 2 種類で、ハイドロフォン・センサ・バッテリー拡張を必要なだけ足して構成します。電波でデータを送らないため、記録が手に入るのは回収できた個体の分だけです。

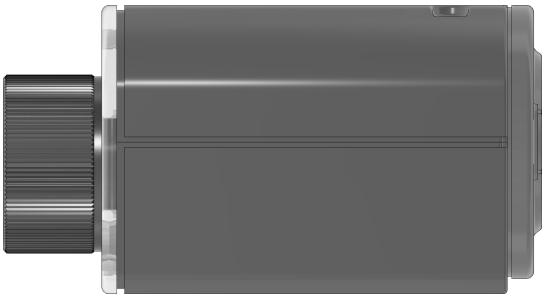
外形寸法(原寸)

A4・倍率 100% で印刷すると実物と同じ大きさ

側面(防水キャップ装着時)



CAM mini
30 × 32 × 71 mm(本体 58 mm + キャップ 13 mm)

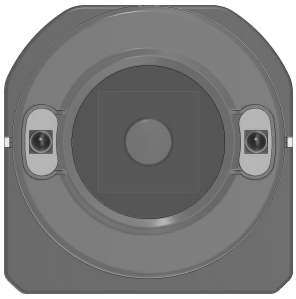


CAM basic
38 × 38 × 71 mm(本体 58 mm + キャップ 13 mm)

正面(レンズ側)



CAM mini
30 × 32 mm／98 g



CAM basic
38 × 38 mm／129 g

装着設計で決めていただくこと

- 装着面の形状にあわせた**マウント**の製作可否
- **浮力体**の要否。使う場合は量と位置で水中での姿勢が変わります
- **回収方法**。個体の再捕獲を前提に組み立てます
- オプションを足したあとの**総重量**と、装着面に残る余裕

図は防水キャップを付けた状態の最大外形で、マウントやハイドロフォンなどのオプションは含みません。防水キャップ(φ23.6 mm・長さ 13 mm)は本体より細いため、付けても増えるのは長さだけです。



マウントとハイドロフォン
ハイドロフォン 2 個とマウントを組んだ例。マウントは装着面にあわせて製作します。



バッテリー拡張
バッテリー拡張とハイドロフォンを組んだ例。外形と重量が増えます。



浮力体 LoggLaw Float
10 円硬貨(φ23.5 mm)との比較。量と位置で水中での姿勢が変わります。

CAM の構成と記録時間

Configuration and recording time

本体

項目	CAM mini	CAM basic
外形寸法 *1	30 × 32 × 58 mm	38 × 38 × 58 mm
空中重量	98 g	129 g
耐圧深度	500 m	500 m
動作温度	-10〜40 ℃	-10〜40 ℃
赤色 LED	なし	**あり(660 nm)**

映像

解像度	VGA(640 × 480):30 / 60 / 120 fps HD(1280 × 720):30 / 60 fps Full HD(1920 × 1080):30 fps
画角	89°(水中)/129°(空中)
メモリ	SD カード(最大 1 TB)

オプション

オプション	記録されるもの	構成が変わる点
センサ -S	深度(圧力)・温度・3 軸加速度・3 軸地磁気を、映像と同じ時刻軸で記録します。	独立バッテリーで動くため、映像が止まったあとも記録が続きます。
ハイドロフォン -A	水中音を 96 kHz で記録。100 Hz〜48 kHz、モノラルまたはステレオ。	外付けで、1 個あたり約 87 g 増えます。映像と同一クロックで動作するため、音と映像がずれません。
バッテリー拡張 -EX	記録できる時間そのものを延ばします。記録内容は変わりません。	外付けのため外形と重量が増えます。容量はご要望に応じて製作します。

連続記録時間

2023 年 6 月の評価試験・センサ搭載構成

解像度	フレームレート	CAM mini	CAM basic
VGA 640 × 480	30 fps	**4.1 時間**	**6.7 時間**
VGA 640 × 480	60 fps	2.8 時間	4.3 時間
HD 1280 × 720	30 / 60 fps	実測データがありません。お問い合わせください	
Full HD 1920 × 1080	30 fps	2.4 〜 2.8 時間	4.4 時間

記録時間の上限を決めるのはメモリではなくバッテリーです。各条件とも 1 回の測定値で、水温・設定・バッテリーの状態により変わります。赤色 LED を点灯すると短くなります。

*1: 防水キャップ(長さ 13 mm)を含まない寸法です。オプションの追加により外形寸法と重量が変わります。



周囲光のみ
オウサマペンギンに装着した記録より。潜降の初め、まだ光が届いています。



赤色 LED 点灯(CAM basic)
同じ潜水の深部。光の届かない深さでも餌生物が写ります。

CAM 詳細版カタログ

記録範囲・記録時間の設計・センサ仕様・データの受け取り方までを製品ページの詳細版(PDF)に掲載しています。

www.biologging-solutions.com/ja/products/logglaw-cam

03 LoggLaw DiveSat 衛星中継型ロガー

海に潜る動物は、息継ぎのわずかな時間しか水面に出ません。DiveSat はその浮上を乾湿センサで検知し、直前までに記録した潜水を Argos 衛星へ送ります。個体を回収できなくてもデータが手元に届き、回収できた場合は本体に残る全解像度のデータも読み出せます。GPS を搭載した DiveSat-GPS も用意しています。

1 回の放流での動作

装着 → 記録 → 浮上のたびに送信

装着・放流
甲羅などに固定し、乾湿センサショートケーブルを外して放流

→

4 秒ごとに計測
深度・水温・乾湿・電池電圧を本体に記録

→

潜水ごとに要約
潜水が終わるたびに、深度の変化点を抽出してプロファイルを作る

→

浮上時に送信
空中を検知している間、約 60 秒間隔で Argos へ繰り返し送信

→

受信・デコード
Kinéis / CLS 経由で受け取り、当社側でデコードして蓄積

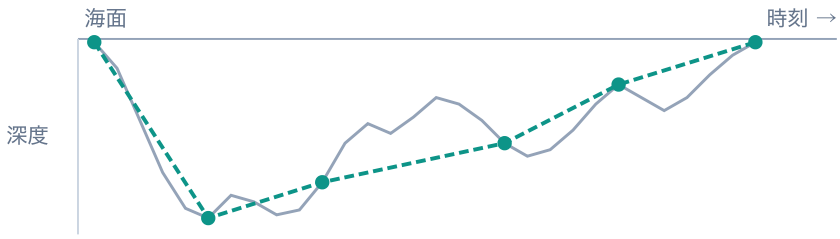
回収できた場合
USB で本体に接続し、4 秒ごとの全解像度データを読み出す（直近 約 8.3 日分）

送信するメッセージ

1 回の送信 = ユーザーデータ 20 byte・約 60 秒間隔

種別	内容	単位
Dive Profile	潜水の深度変化を、時刻（潜水時間に対する %）と深度の組で送る	1 潜水ごと
Summary	潜水回数、最大・平均深度、最大・平均潜水時間、潜水時間比率、水温の最大・最小・平均、電池電圧など	集計期間ごと
Hauled out	陸上に滞在した記録	滞在ごと
Temperature Cast	水温の鉛直プロファイル	取得ごと
Position	GPS の測位結果（DiveSat-GPS のみ）	1 測位ごと
Temporary	電圧などの状態通知	上記のデータがない場合

4 秒ごとの記録から、送る点を抜き出す（模式図）



本体に残る記録（4 秒ごと）
送信するブレークポイント

潜水が終わると、深度の変化点を Broken Stick Model で抽出し、時刻と深度の組にして送ります。送る点数は設定で決めます（最大 6 点・出荷時の既定は 4 点）。

向く調査

- 回収できるとは限らない個体から、まずデータを確実に受け取りたい
- 潜水の深さと時間の傾向を、長い期間にわたって見たい
- 放流後の所在を継続して知りたい（DiveSat-GPS は測位精度 25 m）

ほかの製品が向く場合

- 1 秒以下の細かい行動や姿勢を解析したい → **C シリーズ（回収前提）**
- 水中の映像や音を記録したい → **CAM**
- 陸上動物の位置を追いたい → **G シリーズ（別カタログ）**

DiveSat の実証と仕様

Field trial and specifications

17 日	2,305 件	370 件	84.9 %
受信を継続した期間 2026-04-21 ～ 05-07	受信メッセージ数 うち 98.7 % にドップラー測位	受け取った潜水プロファイル 04-27 ～ 05-05	GPS の測位成功率 404 / 476 回

2026 年 4～5 月の久米島実証（ウミガメ 1 個体・DiveSat-GPS 1 台・17 日間）の実測。性能を保証する値ではありません。

Argos ドップラー測位　両型番

得られ方	送信が衛星に受信されるたび、Argos 側で算出
精度の区分	Location Class 3 ～ B（クラスごとに誤差半径が付く）
実証での分布	Class 3～1 が 59.9 %、誤差半径の平均 937 m

GPS 測位　DiveSat-GPS のみ

取得	浮上を検知するたびに 30 ms の受信で測位（陸上では 150 秒周期）
測位精度	25 m（送信データ・衛星 5 基）
実証での成功率	84.9 %（404 / 476 回）

本体・電源

外形寸法	115 × 75 × 42 mm アンテナは筐体上端から 165 mm
空中重量	DiveSat 315 ± 10 g DiveSat-GPS 320 ± 10 g
耐圧深度	1,000 m
動作温度	-10～40 ℃
メモリ	24 MiB。計測データは 4 秒周期で約 8.3 日分のリングバッファ
電池	塩化チオニルリチウム 19 Ah （充電式ではありません）

衛星通信・測位

対応システム	Argos-2（401 MHz・送信出力 500 mW）
送信	浮上を検知している間、約 60 秒間隔 1 メッセージあたりユーザーデータ 20 byte
GPS 測位	DiveSat-GPS のみ。測位精度 25 m
利用者の手配	PTT ID の取得、無線局免許、Argos システムの利用契約

センサ

構成	深度（圧力）・外部温度・乾湿・電池電圧 4 秒ごとに計測
深度	測定レンジ 1,000 m・精度 ±1 % FS 分解能 本体記録 5.5 cm 以下／送信データ 0.01～10 m
温度	-5～35 ℃・精度 ±0.2 ℃



装着面
甲羅に沿う曲面です。甲羅などに固定して放流します。



全体の形
本体の上面からアンテナが伸びます。寸法は上の表のとおりです。

DiveSat 詳細版カタログ
送信データの形式、潜水の判定、測位、装着、実証の詳細までを製品ページの詳細版（PDF）に掲載しています。
www.biologging-solutions.com/ja/products/logglaw-divesat

04 LoggLaw NAD-W 係留式水中音響レコーダ

受動的音響モニタリング（PAM）のための係留式広帯域レコーダです。設置している間ずっと、192 kHz でフィルタ処理をかけない水中音を SD カードに記録し、何が録れていたかは AI が判定します。選ぶのは AI を動かす場所です。回収後にクラウドで解析する経路 A か、LTE モジュールを加えて装置上で解析し、検出結果を 15 分ごとに受け取る経路 B かを選びます。



192 kHz
サンプリング周波数。最大 96 kHz までを記録

600 m
耐圧深度

約 2 週間
標準バッテリーでの 1 回の設置期間

15 分
LTE モジュール搭載時の検出結果の送信間隔

写真は NAD-W 本体とハイドロフォン。ケーブル長は設置ごとに指定します。

	経路 A｜本体のみ	経路 B｜LTE モジュール追加
AI が動く場所	アップロード後の LoggLaw Cloud	**装置上（エッジ AI）、その後クラウド**
結果が届く時点	機器を回収・保守したあと	**15 分ごと**
設置場所の条件	回収のための船でのアクセス	フロート位置での携帯回線と、利用者が用意する SIM
向く調査	季節調査や音響景観研究など、待ち時間より記録の網羅性が重い調査	警報、船舶航行への対応、複数台を 1 つの画面で見る運用

どちらの経路でも、再解析用の原音はカードに残ります。LTE で送るのは検出結果だけです。

録音の経路　設置している間ずっと動作

水中音
クリック音、ホイッスル、船舶ノイズ、環境音
→
ハイドロフォン
広帯域トランスデューサ。ケーブル長は設置ごと
→
アンプ・ADC
校正済みプリアンプ 192 kHz・16 bit
→
MCU
WAV エンコードとタイムスタンプ付与
→
SD カード
フィルタ処理なしの WAV 256 / 512 GB

検出の対象

対象	検出する内容と必要なもの	状況
イルカの発声	クリック音とホイッスルを時間セグメント単位で有無判定。イラワジイルカの録音で学習したモデルを提供済み	**対応済み**
船舶ノイズ・船種	観測点を通過する船舶の航行音と船種別の分類。対象海域で録音した船舶音を教師データに使用	教師データの提供後に対応
その他の生物	ジュゴンの発声、魚類コーラス、テッポウエビなど。個別に範囲を決めるカスタムモデル	個別開発

NAD-W の仕様と設置期間

Main unit, recording and the LTE module

本体	経路 A・経路 B 共通
寸法	直径 11 cm × 全長 40 cm
空中重量	約 3 kg(バッテリー込み)
耐圧深度	600 m
動作温度	-10〜50 ℃
バッテリー	標準パックで約 2 週間。機内持込に対応
記録媒体	産業用高耐久 SD カード。標準 256 GB、オプション 512 GB
設置形態	フロート、スタンド(杭)、着底アンカー

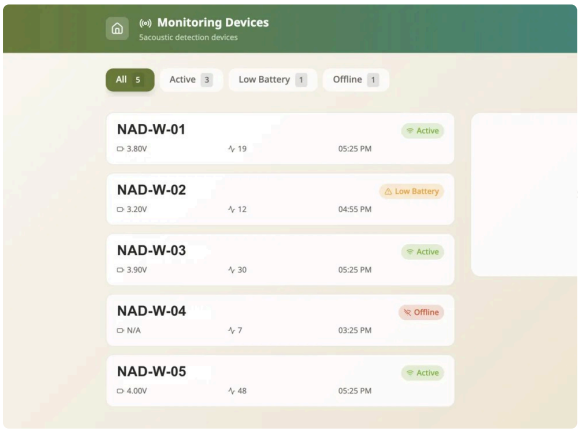
録音	
サンプリング	192 kHz(記録帯域は最大 96 kHz)
量子化	16 bit、モノラル
データ形式	タイムスタンプ付き WAV。装置側のフィルタ処理なし
データレート	約 1.38 GB/時
録音モード	連続、デューティサイクル、スケジュール。LTE モジュール搭載時は 30 秒録音・30 秒解析の交互サイクル

LTE データ送信モジュール	オプション・経路 B
エッジ AI	装置上で音響分類。音声は送らず、検出結果だけを送信
通信方式	3G / 4G LTE。フロート位置で携帯回線が届くことが条件
送信間隔	15 分ごと
位置	1 日 1 回の GPS 測位。ダッシュボードの地図に表示
通信途絶時	結果を装置内にキャッシュし、回線復旧後に自動で再送信
利用者の手配	SIM カードと通信プラン

設置期間の目安 1.38 GB/時から算出

構成	カードが埋まるまで	バッテリー
256 GB・連続	**7.7日**	約14日
256 GB・50 % デューティ	15.4日	**約14日**
512 GB・連続	15.4日	**約14日**
512 GB・50 % デューティ	30.8日	**約14日**

緑の太字は先に上限に達する側です。おおよそ 2 週間を超えると、設置期間を決めるのはバッテリーです。



ダッシュボードの機器一覧(LoggLaw Cloud)
設置中の NAD-W ごとに、電池電圧と検出数、最終受信時刻を並べます。画面は表示例です。

1 回の設置で得られるもの

- **有無の判定**:時間セグメントごとの検出。タイムスタンプと確信度つき
- **原音**:カード上の WAV 一式。目視確認や再解析に使えます
- **機器の位置**:1 日 1 回の GPS 座標(LTE モジュール搭載時)
- **書き出しと通知**:CSV エクスポート、指定イベントのメール・SMS 通知

NAD-W 詳細版カタログ

設置計画、検出の考え方、ダッシュボード、クラウド AI 解析サービスまでを製品ページの詳細版(PDF)に掲載しています。音響性能の数値はご要望に応じてご提供します。

www.biologging-solutions.com/ja/products/nad-w

お問い合わせ

対象種と調査の目的、装着面や設置場所をお知らせください。製品の選定から、構成・記録時間・装着方法・データの受け取り方まで、まとめてご提案します。

www.biologging-solutions.com/ja/contact

お問い合わせ

各製品の詳細版カタログ

読み取ると製品ページが開き、詳細版の PDF をご覧いただけます

C シリーズ
/ja/products/logglaw-c

CAM
/ja/products/logglaw-cam

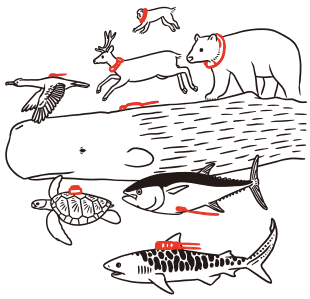
DiveSat
/ja/products/logglaw-divesat

NAD-W
/ja/products/nad-w

本社・京都 R&D センター
Biologging Solutions株式会社
〒603-8321 京都市北区平野鳥居前町54-4
プログレス北野 201

福岡 R&D センター
〒815-0081 福岡市南区那の川2-3-8

連絡先
TEL 075-746-7858
contact@biologging-solutions.com
www.biologging-solutions.com



BIOLOGGING SOLUTIONS INC.

© Biologging Solutions Inc. 発行：2026-10 ／ 第1.0版
掲載の仕様は 2026 年 10 月時点のものです。仕様は予告なく変更されることがあります。